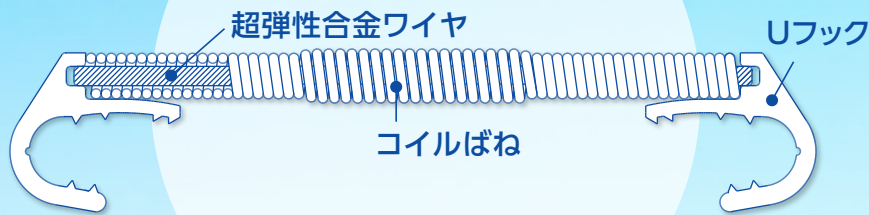


巻き爪マイスター[®]による 矯正治療をご検討中の方へ

巻き爪マイスター[®]のご紹介

巻き爪マイスター[®]は、巻き爪(過度にわん曲した爪)を矯正するための医療機器(以下、矯正具)です。コイルばねに内蔵された超弾性合金ワイヤの弾性力によって、矯正具を装着している間に爪のわん曲が徐々に矯正されます。



製品特徴

- 超弾性合金ワイヤが、持続的に爪のわん曲を矯正します。
- ワイヤをコイルが抱合する設計であり、安全性に配慮しています。
- ばねの伸縮を利用して、フックを爪側縁に引っかけることで、比較的短時間で装着できます。
- 爪を自然な形で矯正できる設計です。また、爪の根元側の矯正効果も期待できます。

装着のながれ



- ①爪幅を測ります。 ②Uフックを爪側縁に ③専用工具でUフック
引っかけます。 潰し、爪に固定します。

※装着には専用工具が必要です。医療機関において、医療担当者が爪の状態を確認してから装着します。患者さんご自身やご家族による装着はお控えください。

製品に関するQ&A

Q1 保険で認められていますか？

A1 自由診療(保険適用外)となります。価格については当院へお問い合わせください。

Q2 治療期間はどれくらいかかりますか？

A2 通常、1~2ヵ月装着を続けていれば巻き爪は改善しますが、個人差があり、重度の巻き爪の方では3ヵ月以上かかる場合があります。

Q3 装着後、入浴(温泉含む)や海水浴などを行ってもよいですか？

A3 装着したまま入浴いただけます。温泉への入浴や海水浴も問題はありませんが、矯正具の錆びを防ぐため、最後には水道水でよく洗ってください。

Q4 装着したままMRI検査を受けてもよいですか？

A4 MRI検査の際には外していただきますようお願いいたします。矯正具はステンレス(SUS304、SUS316)とニッケルチタン合金で構成されており、上記ステンレスは低磁性体または非磁性体のため影響は軽微と考えられますが、ニッケルチタンについては情報がありません。

装着における注意点

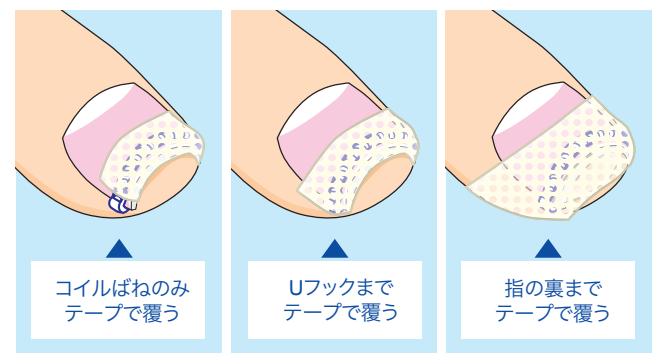
- ▶爪の横幅が矯正具のサイズ適応範囲を大きく外れる場合は装着できません。また、爪がもろい場合、爪周囲に炎症を伴う場合、重度の巻き爪の場合は装着できない可能性があります。
- ▶一度取り外した矯正具は再装着できませんので、むやみに外さないでください。
- ▶治療中は、装着部に強い力がかかると矯正具が外れやすくなるため、注意してください。特に、サッカーや水泳など、爪に負荷がかかるような激しい運動はできる限り控えてください。
- ▶矯正具が装着された爪の表面を医療用テープなどで保護することをお勧めします。睡眠中や靴下などの脱ぎ履きの際に矯正具が外れにくくなり、また、周囲の皮膚や靴下、ストッキングが傷つきのを防ぎます。

※テープを貼るときは、引っ張らずに(伸ばさずに)貼ってください。

※テープは衛生面を考慮し、入浴時などに取り換えてください。

※テープを剥がすときは矯正具が外れないように注意し、ゆっくり剥がしてください。

■テープ貼付の例



コイルばねのみ
テープで覆う

Uフックまで
テープで覆う

指の裏まで
テープで覆う

巻き爪を予防するために

監修:埼玉県済生会川口総合病院 皮膚科主任部長 高山 かおる

爪を清潔に保ちましょう

角質は、爪の溝や爪の裏にたまりやすいです。柔らかい毛のブラシを用いて、泡立てた石けんでやさしく洗いましょう。



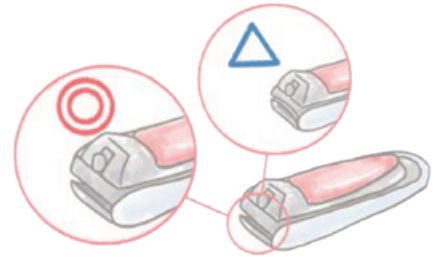
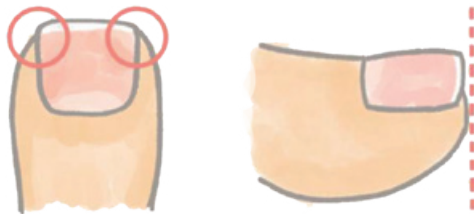
毎日保湿しましょう

爪を中心に、爪の溝・根元・爪の下の指先も保湿しましょう。保湿剤はべたつきが少ないクリーム剤が良いでしょう。



正しい方法で足の親指の爪を切りましょう

爪の先端は四角く、指と同じ長さになるように切りましょう。とがった角はやすりがけをして、引っかからないようにしましょう。



足の爪切りは直線刃がオススメ!

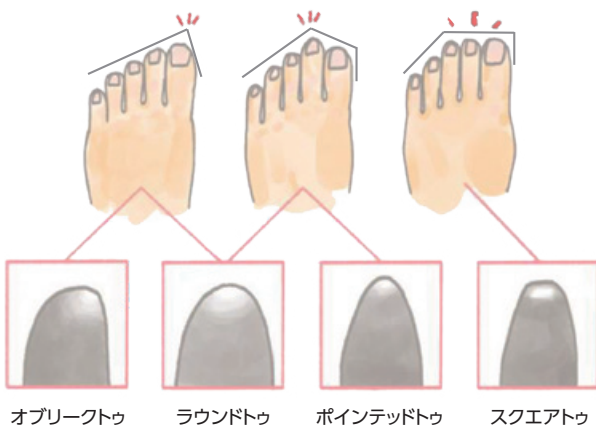
足に合った靴を選びましょう

監修:一般社団法人 足と靴と健康協議会 研究員 上級シューフィッター 原田 繁

① 自分の足の形に合った靴を選びましょう!

足の形は大きく分けて3種類あります

エジプト型 ギリシャ型 スクエア型



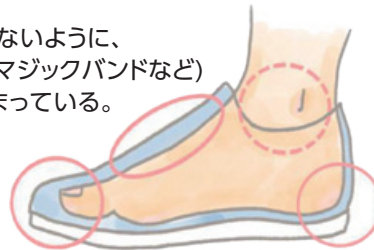
靴の先(トゥ)の形は大きく分けて4種類あります

*上記の図はあくまでも参考です。靴を購入する前に必ず試着し、歩いてみて足に合っているか確かめましょう。

② 靴が足に合っているか、正しく履けているかどうかをチェックしましょう! 当てはまる数が多いほど、きちんと履けている状態です。

足が前に滑らないように、締め具(ひも・マジックバンドなど)がしっかり締まっている。

外側のくるぶしが靴に当たらずに履けている。



必ず立った状態でチェック!

靴のつま先の高さに余裕がある。
 足の指がグーパーできる。

足のかかとが靴のかかと(ヒール)にぴったり合っている。



つま先に10~20mmの余裕がある。

親指と小指の付け根(出っ張っているところ)に圧迫感がない。